井原民報

第１０４号
発行所
日本共産党
井原市議団
井原市井原町１０３
TEL ６２－６２００
FAX ６２－６２０９

森本議員　入札制度の改善を求める

予定価格一千万円以上に

日本共産党の森本議員は井原市議会六月定例会の一般質問で新しい入札制度の改善を求めました。

市は、八月から入札業者間の談合防止対策の一環として「制限付一般競争入札」の試行を決めました。

この入札条件の中で、予定価格四千万円以上の土木、建築工事を入札の対象とすることをあきらかにしました。

森本議員は「四千万円以上の工事は入札全体の一割以下、九割以上が談合問題があるといわれている今までどおりの指名競争入札になるということでは、制度改革の目的が薄れてしまう。

森本市議

岡山県も近々予定価格一千万円以上に拡大する。市が県より高い予定価格というのはいかがなものか。

せめて予定価格一千万円以上の工事に拡大するべきだ」と改善を求めました。

これに対し瀧本市長は「とりあえず試行的に四千万円以上で実施し、その後の状況を踏まえながら改革を進めていきたい」と述べるにとどまりました。

森本議員は、この他にも、昨年度末までに実施した学校施設の耐震化優先度調査に基づき、教育予算を十分確保し、各施設の耐震診断を早急に行い、子どもたちや市民の安全・安心を確保するよう提言しました。

石井議員　高齢者にシルバータクシー助成券を

日本共産党の石井議員は「車を運転しない高齢者の多くが、福祉行事などへの参加、また医療機関への通院にタクシーを利用しておられます。対象者にシルバータクシー助成券を発行して利用しやすくしてはどうですか。

また、井原市福祉基金助成事業の交通関係の助成対象者の条件の緩和を考えては」と提言しました。

これに対し「市の福祉行事への参加についてはバス送迎をしている。今後とも井原あいあいバスなど公共交通体系の機能強化、利用促進を図る。

新たにシルバータクシー助成券発行を、今の段階では考えていない」と答えました。

この他に生活保護について質問しました。

石井市議

６月市議会で平成１９年度の一般会計と国保、老人保健の２特別会計の補正予算が審議され、すべて原案通り可決されました。その中から歳出（支出）の主なものをお知らせします。

★１，７７７万円　国保事業特別会計繰出金　★１，８４４万円　老人保健医療特別会計繰出金　★８００万円　井原中学校３棟の耐力度調査業務委託料　★３，０７２万円　大江公民館の駐車場用地を購入し、造成する費用(公民館南側 1,287.36㎡ ４０台駐車可能)　★１，９７６万円　井原市井原図書館の駐車場用地を購入し、舗装工事をする費用(図書館南側 543.02㎡ １８台駐車可能見込み)　★１，６４１万円　美星国保診療所の平成１８年度の収支不足分を指定管理者である旭川荘へ管理運営委託料として渡す。

２００７年（平成１９年）井原市議会６月定例会の質問項目

佐藤　豊議員◆市民の安心・安全施策向上への取り組みについて伺う　◆自治体の有料広告導入について伺う　◆妊婦一般健康診査での助成の拡充について伺う　◆都市圏へのアンテナショップ開設について伺う

森本典夫議員◆一般競争入札の導入案を具体的かつ詳細に明らかに　◆学校の耐震化優先度調査の結果と今後の対応は　◆障害者に対する避難所対策とバリアフリー化の計画作成を　◆石綿セメント水道管（石綿管）の早急な更新を　◆有権者の投票行動を阻害する投票所統合をしないこと◆市民病院でのジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用促進を　◆市が主催などするイベント時には十分な仮設トイレの設置を

石井敏夫議員◆高齢者の交通手段の確保について
◆生活保護者の住居を奪うリバースモーゲージ制度について

河合建志議員◆高梁市佐屋地区の井原市編入について

川上武徳議員◆乳幼児や高齢者への虐待防止について　◆認知症予防対策について

井口　勇議員◆井原市浄化槽設置整備事業補助金について　◆少子化対策について

みなさんの声が実現

平成十七年四月に市議選が行われ二年が経ちました。この間みなさんからの声を森本、石井両議員が市議会等で取り上げ、次のことが実現しました。

平成十七年四月から祝日も生(可燃)ごみが収集され始めました。市民ギャラリーの清掃は、いままでは、展示などをする主催者が自主的にやっていましたが、平成十七年四月から月一回清掃業者がするように改善されました。

井原地域の地区公民館に平成十七年四月～五月にファックス電話が設置されました。

今まで一家族一枚だった国民健康保険証が、被保険者一人に一枚のカードになりました。

乳幼児医療費無料の該当年齢を、小学校入学前まで（六歳の誕生日年度の三月三十一日まで）に拡大。平成十七年十月一日から実施されました。その後小学校三年終了までに拡大され、平成十九年四月一日から実施されました。

芳井、美星地区の交通体系が見直され充実・改善されました。

平成十八年十月から本市でパスポートの発給が可能になりました。

井原市木之子町にあった井原市養護老人ホーム「偕楽園」を四季が丘へ移転新築し、平成十九年四月に開所しました。

井原市例規集がインターネットで誰でも見られるようになりました。

避難場所の表示看板のない所は新設。いたんでいるところは更新されました。

市立学校の耐震化優先度調査を平成十八年度中に１００％完了しました。今後は耐震診断。

単県医療費が一割負担となったため平成十九年四月から、県の月額負担限度額の２分の１が低所得世帯に助成されます。

西江原幼児園完成に伴い、平成十九年四月から障害児の受け入れ、十九時までの延長保育の実施、生後三ヶ月の乳児も受け入られます。

一人目の保育料が、平成十九年四月から月額千五百円引き下げられました。

市営住宅の家賃の減免と徴収猶予が受けられる制度の周知徹底。

今まで指名競争入札だった工事のうち、土木、建築工事の予定価格四千万円以上について、平成十九年八月から制限付一般競争入札制度を導入・試行します。（森本市議は四千万円以上では不十分なので、せめて一千万以上にすべきだと提言）

請願の審査結果

◆労働法制の充実の意見書採択を求める請願　・・・・採択

◆地方財政に関する意見書採択を求める請願　・・・・継続審査

◆最低賃金法の抜本改正と均等待遇の実現を求める請願・・採択

３請願すべて森本、石井両議員が紹介議員になっているものです。

議長に高田議員・副議長に川上泉議員

５月に井原市議会臨時会が開催され、正副議長選挙が行われ、議長に高田正弘議員、副議長に川上泉議員が選ばれました。

《正副議長選挙の得票結果はつぎのとおりです。》

◆議　長選挙　高田正弘議員　２３票　森本典夫議員　２票

◆副議長選挙　川上　泉議員　２３票　石井敏夫議員　２票

井原放送の市議会放映に大きな反響

昨年の十二月市議会からCATV井原放送で市議会の開会と閉会、一般質問日の完全生中継が始まりました。

また、議員の質問形式も、一問一答方式で行われるようになったことで、内容が非常に分かりやすくなり、市民から「観たよ」とか「市民のために頑張ってくれているね」など大きな反響がありました。

伊藤氏を人権擁護委員として了承

市長から市議会に左記の伊藤氏を人権擁護委員として推薦したい旨提案され、了承しました。任期は七月一日から三年。

住所　井原市芳井町上鴫九三七番地
氏名　伊藤　公章(きみあき)
生年月日　昭和二十六年七月十九日

井原市議会定例会
一般質問状況一覧

議員名	平成17年			平成18年				平成19年		発言回数
	6月	9月	12月	3月	6月	10月	12月	3月	6月	
水野　忠範				○				○		2
内田美千子	○	○		○		○				4
川上　武徳					○	○	○	○	○	5
上田　勝義	○	○	○	○	○	○	○	辞職		7
宮地　俊則		○		○		○	○			4
佐藤　豊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
大滝　文則	○			○	○	○	○	○		6
上本　昇										
井口　勇		○			○		○		○	4
森下　金三		○		○						2
田辺　隆則			○							1
河合　建志		○	○		○		○	○	○	6
鳥越　勇	○			○			○			3
佐能　直樹				○		○				2
三宅　康之										
石井　敏夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
谷本　仲弥								○		1
猪原　保之	○	○	○			○				4
鳥越孝太郎	○	○		○		○		○		5
川上　泉						○	○	○		3
志多木茂夫										
高田　正弘						○			議長	1
藤原　清和	議長									
森本　典夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
藤原　正己										
乘藤　俊紀								○		1
質問者合計	9	11	7	12	8	13	11	11	6	

森本・石井市議の生活相談

とき　毎週月曜日　午前１０時～１２時

ところ　日本共産党市議団事務所　井原町103

でんわ
６２－６２００（党市議団事務所）
６２－６０６１（森本ふみお宅）
６２－４６６７（石井　敏夫宅）

日本共産党井原市議団はみなさんの利益を守ることを第一に考え、市民こそ主人公の立場で奮闘します。